



里山と生物多様性

報告者：加藤賢三



分科会の内容紹介

- ・日時：2008年4月26日 13:00~16:50
- ・場所：千葉県立中央博物館 講堂
- ・参加者数：43名
- ・内容「ホタルから見えるもの」
どうすれば、地域のホタルが残せるか？

分科会の様子



本分科会のまとめ

- 基調講演 日本と中国のホタルの多様性
講師：大場義信（大場蛭研究所長）日本のホタルのルーツは中国にあることが中国のホタルの多様性の調査から示唆された。
- 県内ホタル事情○ゲンジボタルの幼虫上陸と羽化時期（手塚幸夫）○千葉県のクロマドボタル（大和田正）○房総半島のヒメボタル（倉西良一）
- 各地のホタルだより
富里、四街道、八千代
- 地域のホタルを残す！
○ 農林業のなりわい、活性化
○ 地域のホタル生息調査
○ 内浦山県民の森の継続的ホタル調査
○ ホタルのみではなく、ホタルのすめる環境の保全。

